

気軽に教養を身につけたい。

## 大阪大学 21世紀懐徳堂 i-spot 講座

大阪市と大阪大学が協同で提供する公開講座。それぞれの専門分野から、ともに「学び合う」を意識したテーマ設定と講座スタイルが特徴です。今期は「肉眼ではみえない世界のとらえ方」と「いろいろとつながる」の2シリーズです。

受講料  
無料

●会場／淀屋橋 odona 2階アイ・スポット (地下鉄御堂筋線淀屋橋駅) ●定員／各回 30名 (申込み先着順) 10番出口直結  
●申込先／アイ・スポット i-spot@voice.ocn.ne.jp  
TEL&FAX.06-4866-6803 講座名、受講者本人のお名前、年齢(学年)、電話番号を、電話・メール・FAX のいずれかの方法にてお知らせください。各回開講日の1ヶ月前から申込受付開始。※小学生向け講座の申込・定員等、詳細は各講座の概要をご覧ください。電話受付は月～金 13:00～21:00、土・日・祝 13:00～17:00

### 肉眼ではみえない世界のとらえ方

#### ■見えない光で観る宇宙 －惑星の誕生－

深川美里 (大阪大学大学院理学研究科助教)

7月29日(月) 18:30～20:00

私たちの太陽系は、どのようにして誕生したのでしょうか？宇宙には無数の星があり、同時に無数の惑星が存在します。そして、それら惑星が誕生する様子を調べることで、惑星系の成り立ちを理解しようとする研究が盛んに行われています。惑星やその材料物質は、赤外線や電波といった、目には見えない電磁波で光っています。見えない光が運んでくる情報から、私たちは惑星誕生の謎にどこまで迫っているのか、その最新の観測結果をご紹介します。※本研究は科研費(課題番号 23103004、23740151)の助成を受けたものです。

### いろいろとつながる

#### ■「まちの居場所」から 地域社会につながる

松原茂樹 (大阪大学大学院工学研究科助教)

8月2日(金) 18:30～20:00

コミュニティ・カフェやサロンといった「まちの居場所」が近年注目を浴びています。そこは地域で暮らす住民がいつでも好きな時に来て自由に過ごせる居場所であり、今までの地域社会になかった新しい場です。また住民が自然と集うからこそさまざまなモノ・コトが生まれます。地域社会のありようが変化するなか、今後「まちの居場所」は大きな役割を担うと考えています。その役割や工夫について建築計画・設計の面やまちづくりの面からお話しします。

メールでのお申し込み可。

アイ・スポット 大阪市 検索



大阪大学 21世紀懐徳堂は、市民と大阪大学をつなぐ学術連携や社会貢献活動の窓口です。大阪大学の高度な研究と教育の成果、文化的資源を広く社会に還元し、また、学外からの要望を受け、大学のさまざまな活動に反映させるコーディネーターの役割を果たします。大阪大学の学術連携の情報を集約し広報す

### 肉眼ではみえない世界のとらえ方

#### ■でんきとじしゃくであそんでみよう 金谷一朗 (大阪大学大学院工学研究科准教授)

8月6日(火) 14:30～16:00

人類は今から何千年も前に電気と磁気という不思議な現象を発見していました。例えば、古代エジプト人はデンキウナギが動物を感電させることを知っていましたし、古代ギリシア人はマグネシア島で採れる不思議な石(磁石)が鉄を引き付けることを知っていました。電気と磁気は、このように何千年もの間別々の現象と考えられていました。ところが、電気と磁気は実は同じものだと思いついた天才科学者がいました。20世紀を代表する科学者、アルベルト・アインシュタインです。この講座では、紀元前の実験から、アインシュタインのひらめきの大元になった実験(エルステッドの実験、ファラデーの実験)、そして電気を使ったコンピュータの実験をみんなで行います。●対象：親子12組(小学1～3年生と保護者1名)●申込受付期間／7月1日(月)～20日(土)●保護者の方がお申込みください。応募者多数の場合は抽選。●参加決定者には7月27日(土)～31日(水)にご連絡します。

### 肉眼ではみえない世界のとらえ方

#### ■みんなで「てつがく」してみよう ：目では見えないもの？

高橋綾 (大阪大学大学院文学研究科特任研究員)

光島貴之 (美術家)

8月26日(月) 14:00～15:30

目では見えないけど、そこにたしかにあるもの、ってどんなものですか？どうして、私たちは見えないもの、見たことがないものが存在すると思えるのでしょうか？「子どものてつがく」では、このように簡単には答えのない問いについてみんなで話し合い、考えます。今回は、「目では見えないもの？」をテーマに、

全員の美術家光島貴之さんが会場の壁いっぱいを使って描く絵を観ながら、「見えないもの」や「見ること」についてみんなで考え、表現することにチャレンジします。●対象：小学3～6年生12名 ※保護者の方は見学可・一部参加可。●申込受付期間／7月11日(木)～30日(火)●保護者の方がお申込みください。応募者多数の場合は抽選。●参加決定者には8月7日(水)～11日(日)にご連絡します。

### いろいろとつながる

#### ■明日の元気な自分につながる ～漢方薬の力をかりて～

岸田友紀 (大阪大学大学院医学系研究科助教)

9月2日(月) 14:00～15:30

風邪をひきやすい・冷え性・肩こり・頭痛・疲れやすいといった症状で困ったことはありませんか。漢方薬をうまく使うことで、そうした症状が緩和できるかもしれません。漢方薬は、多種類の生薬から構成されているので、薬効が多岐にわたります。この症状のために飲んだのに、あの症状にも効いた…という嬉しいことも。実際の症例や最新の研究成果をまじえながら、漢方薬というものを考えてみます。

### いろいろとつながる

#### ■人びとのつながりの変容

辻大介 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授)

9月10日(火) 18:30～20:00

東日本大震災をきっかけに、人と人との絆、つながりの大切さが改めて見直されましたが、その一方で、家族や地域、職場など、さまざまな場面で人間関係の希薄化が問題視されています。何が希薄化の原因なのでしょう？いや、そもそも私たちのつながりは本当に希薄化しているのでしょうか？各種の調査データを多角的に分析しながら、この半世紀に人びとのつながりがどう変化したのか、その実態と原因を探ってみたいと思います。※本研究の一部は科研費(課題番号 22530545)の助成を受けたものです。

## 大阪大学の公開講座や イベント情報を メールでお知らせします！

### 大阪大学 21世紀懐徳堂の メーリングリストに登録しませんか？

市民のみなさんを対象にした催し(学術連携事業)を月に3～4回程度お知らせする「21世紀懐徳堂メールマガジン」の配信を希望される方は、件名を「メールマガジン配信希望」として、お名前(フリガナ)とアドレス(パソコンアドレスをおすすめします)を下記へお知らせください。

info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp

※いただいた情報は、他の目的には使用いたしません。

学ぶとは。考えるとは。

## Handai-Asahi 中之島塾

朝日カルチャーセンターとの共同講座。入会金は不要です。大阪大学の第4キャンパス、大阪大学中之島センターで開講します。知識を吸収しながら問題を発見し考察する力も養います。

●会場／大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

●定員／各講座により異なります。

随時受付中ですのでお問い合わせください。

●申込先・問合先／

朝日カルチャーセンター TEL.06-6222-5224

### ■先端医学と漢方の融合をめざす 「なにわ漢方」について

萩原圭祐 (大阪大学大学院医学系研究科准教授)

6月29日(土) 14:00～15:30

受講料 1,575円

大阪には、道修町を本社とする製薬メーカーが多数存在しますが、その流れは、8代将軍吉宗の時代にまでさかのぼることができます。北山友松子や永富独喃庵など大阪にゆかりの深い漢方医を紹介し、その流れが、緒方洪庵の適塾にもつながっていることを解説していきます。上方の医学の歴史を俯瞰的に眺めると、大阪には、実証的、実践的な医学の歴史背景が存在し、その流れは、大阪や科学故山村雄一先生(元阪大総長)の指導のもと行われた漢方医学の生化学的研究にもつながっています。現在、大阪大学漢方医学寄附講座では先端医学と漢方医学の融合治療「なにわ漢方」を提唱しており、その実際例についても解説していきます。

### ■幕末維新と適塾の洋学者

福田舞子 (大阪大学適塾記念センター特任研究員)

7月27日(土) 10:30～12:00

受講料 1,575円

19世紀後半、西洋諸国による東アジア進出の影響を受けて、外交や防備の必要性から、西洋の知に対する関心が全国的な高まりを見せました。洋学者の活躍したフィールドは、語学や科学技術をはじめ多種多様な分野に及びます。洋学を学ぶため各地の私塾に入門する者も増加し、緒方洪庵が大坂に開いた適塾にも全国から入門者が集まりました。国内外の情勢が大きく揺れ動くなかで、洋学者たちは何を学び、どのような場で必要とされたのか。緒方洪庵没後150年・適塾創設175周年にあたる本年、適塾で学んだ人物を事例に、当時の社会情勢と洋学者の関わりについて改めて考えたいと思います。

### ■ライブ・おもしろ上方落語学

#### ～「いくたまさん」と落語史

中川桂 (二松学舎大学文学部准教授)

林家染左 (落語家)

7月27日(土) 14:00～15:30

受講料 2,100円

大阪人には「いくたまさん」の愛称でおなじみの生国魂神社は、毎年秋に「彦八まつり」が開かれていることから分かる通り、上方落語とは深い繋がりがあります。江戸初期には大坂落語の祖である初代米沢彦八が活躍、その後も芸人たちが話芸を披露する場でした。しかし江戸後期には賑わいが失われたと伝わります。そんな社地の盛衰にも触れながら、落語との関係をたどります。また、関連する落語を林家染左の実演で聞いていただきます。



### ■乳がんの早期発見と 最新の治療について

金昇晋 (大阪大学大学院医学系研究科准教授)

8月3日(土) 10:30～12:00

受講料 1,575円

乳がんは、日本において女性が罹るがんでも頻度が高く、20人に1人が乳がんになる時代です。乳がんを克服するためには、早期発見、早期治療が重要です。しかし、日本では乳がん検診の受診率は欧米諸国に比べ低いのが現状です。治療において、手術では一期的乳房再建が普及しつつあります。薬物治療(抗がん剤やホルモン治療、分子標的薬など)では、患者さんのがんの性質にあった治療を行うようになっています。本講義では、日本における乳がんの特徴、診断方法、最新の治療方法について概説し、今後の乳がん治療のために現在大阪大学で行っている新しい取り組みについても紹介する予定です。

### ■だまされるころの動き

#### ～「大阪のオパチャン」なら大丈夫？

太刀掛俊之 (大阪大学キャンパスライフ

支援センター准教授)

8月3日(土) 13:30～15:00

受講料 1,575円

振り込め詐欺の話題になると、「大阪のオパチャンはだまされない」としばしば言われますが、その通説に反して大阪府内の被害件数と被害金額は最近増加しているようです。大きな事件や事故に遭わないまでも、私たちの普段の生活は、ちょっとした「だまし」や小さな「失敗」であふれています。これらの具体例の紹介や実習体験を通して、人間のこころと行動の法則に触れ、日常では自覚することのないこころの側面と上手に付き合う術を学びます。「こころ」をキーワードに、人間行動の観察のとびらを開いてみましょう。

### ■古代語の謎を解く

蜂矢真輝 (大阪大学名誉教授・中部大学教授)

8月24日(土) 13:30～15:00

受講料 1,575円

日本の古代のことはについて、形や意味を変えたりもしながら現代でも用いられているものを中心に、その語の成り立ちや由来を考えます。あまり根拠のない語源説のようなものではなく、国語学の、語構成を研究する立場から、いろいろな語の表すところを探ります。多くの語を合わせて比べてみると分かってくることもあります。分かりにくいことに迫る時には謎解きのようなおもしろさが、その由来に迫る時にはルーツを探るようなおもしろさがあるでしょう。(取り上げることは毎回変わります)

### ■ゲリラ豪雨や竜巻を瞬時に把握

#### ～世界最高性能の気象レーダを開発

牛尾知雄 (大阪大学大学院工学研究科准教授)

8月31日(土) 10:30～12:00

受講料 1,575円

夏季の夕方に、突然の大雨、ゲリラ豪雨に遭遇されたことのある方も多いのではないのでしょうか。このゲリラ豪雨は、河川の氾濫、鉄砲水などをもちらし、都市

の機能を麻痺させ、時には人命にも関わります。この講義では、昨年、大阪大学が開発に成功した世界最高性能の気象レーダをはじめとするリモートセンシング技術について、背景となる地球環境問題から、最先端の試みまで紹介し、災害に強い、安心安全な未来の社会像を紹介したいと思います。

### ■おもしろ日本語学

#### ～「まさか」に伴う口調と表情

小矢野哲夫 (大阪大学大学院言語文化研究科教授)

9月13日(金) 13:30～15:00

受講料 1,575円

ひとつひとつの発言には、発言する人の表情や口調が伴っています。場合によっては身振りや手振りなどの身体的な特徴が伴うこともあります。話し手の気持ちを表すことばには、それに特有と考えられる表情や口調が、日本語の話者に共有されていることがあります。「まさか」という副詞は予想した事柄に対する話し手の気持ちを表します。その予想には意外性が含まれます。悪い予想もあれば良い予想や期待もあります。「まさか」を使った発言を例にとり、それが、どんな表情、どんな口調で実現しているのかを観察してみようと思えます。

### ■「からだ」と「あたま」の鍛え方

#### ～よりアクティブで質の高いライフスタイルを目指して

七五三木 聡 (大阪大学大学院医学系研究科准教授)

9月21日(土) 10:30～12:00

9月28日(土) 10:30～12:00

受講料 3,150円 (全2回)

今よりもっと健康的になるために、ジョギングなどの運動や脳トレを始める人が増えています。しかし、効果の現れ方は人によって大きく異なり、全く効果がなかったりもします。どうしてそんなことが起こるのでしょうか？講座では、身体や脳が新しい生活スタイル(新しい使い方)に対して変化(適応)する性質やそのしくみを理解し、どのような鍛え方をすればいいのかを考えます。(※リクエスト多数により2010年9月の講義をベースにした内容で再登壇していただきます。)

### ■大阪弁ぼちぼち講座

#### ～変わりゆく大阪弁

金水敏 (大阪大学大学院文学研究科教授)

9月30日(月) 13:30～15:00

受講料 1,575円

「おかん」「めっちゃ」など、昔にはなかった言葉が大阪弁に現れる一方で、「おいでやす」「はばかりさん」など、使われなくなった大阪弁も多数あります。懐かしい古い言葉が消えていくのは残念ですが、日々変化していくのはことばの常、新しくなっていくからこそ時代を超えて生き残れるとも言えます。大阪弁はどのように変わってきたか、これからどのように変わっていくのか、語彙、文法、音韻等の面から考えていきます。

ネットからのお申し込み可。

Handai-Asahi 中之島塾 検索

## 会社帰りにちょこっと寄り道。ラボカフェ

参加者が自由な議論を行う対話型プログラムです。

参加費  
無料

●会場／アートエリア B1

●定員／各回により異なります。(当日先着順・入退場自由)

●お問合せ／大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

TEL.06-6850-6632 zenkyo-insoumu@office.osaka-u.ac.jp

### ■中之島哲学コラージュ「性と表現」

7月10日(水) 19:00～21:00 定員 50名程度

今日、性にまつわる情報は氾濫しているといわれますが、しかし一方で、ひとはだけ性/性愛/エロスと向き合っているでしょう。性について考えることは日常では巧みに回避され、すり替えられてしまうようにも思えます。表現のし難さにも思いを致しつつ、いくつかの作品なども材料にしながら、性と表現について、じっくりと考えます。進行役/荻野亮一、秋田光軌(大阪大学大学院文学研究科博士前期課程)、カフェマスター/本間直樹(大阪大学 CSCD 教員)、共催/カフェフィロ

### ■シアターカフェ「本気で市民劇! 阪大×メイシアターの取組み」

7月11日(木) 19:00～21:00 定員 30名程度

2011年より、大阪大学の学生と吹田市民を中心に、市民×プロの市民劇の創作に取り組んでいます。今年も2014年2月、吹田メイシアターにて上演を予定しています。これまでの吹田メイシアターが取り組んできた市民参加舞台公演の紹介や、今年度の出演者募集の情報など、演出家、俳優を交えてざっくばらんに話します。コミュニケーションゲームや、リーディングワークショップも予定しています。是非、お気軽にご参加ください。ゲスト/日和香(公益財団法人吹田市文化振興事業団事業課主査)、紙本明子(劇団衛星)、カフェマスター/進行(大阪大学 CSCD 教員)

### ■体を動かしながらちょっと突っ込んで考えてみる会

#### (Moving / Thinking / Meeting) vol.2 「踊りと眼」

7月19日(金) 19:00～21:00 定員 30名程度

振付に眼は必要でも踊りには…。でもそもそも人は踊っている自分をどうやって知覚しているのか…。(視覚によって?あるいは触覚で?) etc. 踊る快楽ならぬ踊りに見る快楽に通じたダンス批評家の眼差しと、舞女などの盲目の芸能文化について明るく(ご自身盲目の)学者の身体感覚を味わいながら、「踊りと眼」について考えてみます。ゲスト/広瀬浩二郎(国立民族学博物館准教授/文化人類学)、古後奈緒子(ダンス主宰/ダンス批評)、進行/富田大介(大阪大学 OSIPP 特任助教)、カフェマスター/西川勝(大阪大学 CSCD 教員)、共催/大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP)

### ■中之島哲学コラージュ「終末期に人工透析は必要？」

7月24日(水) 19:00～21:00 定員 50名程度

もしあなたの腎臓の機能が著しく低下すると人工透析が必要になります。しかし、余命がいくばくもないとわかっていたら、あなたは どうしたいですか? 日本透析医学会は昨年、終末期患者について人工透析中止も選択肢とする提言案をまとめた。今回は現場の状況を踏まえて皆さんと考えます。ゲスト/大賀由花(透析療法指導看護師・透析技術認定士)、進行役/青木健太(大阪大学文学研究科博士前期課程)、カフェマスター/浜渦辰二(大阪大学文学研究科臨床哲学教授)、本間直樹(大阪大学 CSCD 教員)、共催/患者のウェル・リビングを考える会、カフェフィロ

### ■ワークショップデザイナー・カフェまなびほぐしの会

#### vol.2 「サイドワーカーのファシリテーション力」

7月25日(木) 19:00～21:00 定員 50名程度

まちづくり・コミュニティの現場で活躍されている曾根田さんと中脇さんが、様々なキーワードについて語り合う時間と、異なる領域のワークショップデザイナーをゲストに事例発表を聞く時間の二部構成から、ワークショップにまつわることをあれこれ語り合う「まなびほぐしの場」を一緒に体験しましょう。スピーカー/曾根田香(studio-L)、中脇健児(NPO 法人ワークショップデザイナー推進機構理事)、宮内龍太郎(ナレッジキャピタルコミュニケーション)、カフェマスター/中谷和代(大阪大学 CSCD 特任研究員)、共催/大阪大学ワークショップデザイナー育成プログラム事務局、NPO 法人ワークショップデザイナー推進機構

### ■オープンミーティング「“老い”について考える。その2」

7月31日(水) 19:00～21:00 定員 30名程度

“私たち”の誰にでも訪れる“老い”。それは一体どのような“こと”なのでしょう? 何をを得て何を失うの? 社会制度は? そのとき豊かなの? 貧しいの? 社会とよりよく折り合うためには? etc. 第1回目に引き続き、“老い”にまつわる諸々について、皆さんと考えます。老若男女! ご参加をお待ちしております。進行役/本間直樹(大阪大学 CSCD 教員)、カフェマスター/木ノ下智恵子(大阪大学 CSCD 教員)

●主催/アートエリア B1 [大阪大学+NPO 法人ダンスボックス+高槻市民連帯(株)] ●共催/大阪大学 21世紀懐徳堂 ●企画制作/大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSDO)、NPO 法人ダンスボックス ●協力/NPO 法人 recip [地域文化に関する情報とプロジェクト]